阿波の絵図

～町場の絵図～

PART.4

期間

平成13年4月24日(火)～8月5日(日)

場所

徳島県立文書館【2階展示室】

－入場無料－

ごあいさつ

江戸時代に作られた絵図の多くは、カラフルで、さまざまな情報が盛り込まれており見飽きることがありません。徳島県立文書館では、徳島県の全域に残る絵図を少しずつですが、収集したり、複製物を作る仕事を続けてきております。このうち、徳島城下をはじめとした徳島・淡路の町場の絵図を第二十二回資料紹介展「阿波の絵図パート4」としてご紹介いたします。

江戸時代は、地方においても町という場があちこちに芽生え成熟していった時代でした。阿波の中心である徳島(古くは渭津)も、町場として成立したのは、阿波の領主となった蜂須賀家が、天正十三年(一五八五)阿波入国の際に拠った山城である一宮城から、現在の海辺に近い徳島城に居城を移してからでした。その後、家臣である武士の集住が進み、さらにそれに応じて商人や職人といった町人が増加し、町場が周辺に拡大していく過程がありました。海辺に近い徳島の町は商業都市として大発展し、江戸末期から明治期にかけては、人口でも日本全国の十指に含まれる大都市となったのです。

また、徳島以外にも各地に郷町という町場が形成されていきました。撫養(鳴門市)・西条(吉野町)・富岡(阿南市)・川島・脇町・鴨(海部町)・鷲敷・池田の町は、藩政のごく初期に阿波九城と呼ばれる拠点が置かれたところで、その後も物資の集散地など重要な拠点として町場となりました。また、この他にも阿波国外との流通拠点として有力であった小松島・日和佐などが町場として成長していきました。これらの町場は、川沿い・海沿いなどその土地の地形などの条件に合わせて発展していったのです。

この展示会では、こうした徳島・淡路の町場の様子やその変遷をご覧になっていただければと思います。

最後になりましたが、快く資料の寄贈や寄託、また複製の作成にご協力をいただきました多くの方々や関係機関に厚く御礼申し上げます。

平成十三年四月二十四日

徳島県立文書館長　佐々木　清克

御山下画図　正保三年（1646）　国立史料館所蔵（24A-1227）

徳島城及び城下町の町割りを一覧できる図である。城郭内の建物（天守・門ともに１９「家」）が詳細に描かれている。安宅島が島として描かれ，当時の阿波水軍の拠点であったことがわかる。現新浜付近は干潟の状態である。佐古町は，まだ未成立である。内町・新町・助任町・福島町の町屋の建物が瓦葺き，板葺きに描き分けられているようである。本図は正保３年作成とされているが，寛永１６年(1639)以前と推定される。

阿波渭津城下之絵図　天和三年（1683）　国立史料館所蔵（24A-1228-1）

徳島城下が「城」や「侍屋敷」「足軽町」「町屋」「寺」などに明確に区分されている。西富田・東富田・佐古・助任などの地区には，「弓之者」「鷹匠屋敷」「台所人屋敷」など下級藩士の屋敷地が記され，後の弓丁，鷹匠丁などの名称の起源がうかがえる。城廻りの石垣・塀などの間数のほか，城下を流れる河川の川幅，干満時の水深，橋の長さと幅などが詳細に記されている。鷺の門を起点に伊予街道など主要街道に向かう道筋が朱線で描かれている。

御山下絵図　元禄四年（1691）　国立史料館所蔵（24A-1228-2）

内町・新町・助任町・福島町・佐古町の町屋が朱色で色分けされている。新町には「大工町」「かこや町」「紺屋町」「ゆや町」「古金町」「桶屋町」など，西富田には「御弓町」「御簾町」などの記載がある。佐古の町屋がさらに西に延び，上助任に新しく町屋が形成されつつあることがわかる。また，新町橋・徳島橋・助任橋・福島橋の長さと幅が記載されている。なお，本図の左上に見える寺沢源右衛門らは，普請奉行であると思われる。

須本御城下町屋敷之図　国立史料館所蔵（24A-1217-3）

洲本城下町の屋敷割りの様子がわかる図である。作成年代は不明であるが，家臣名などから稲田家が洲本に入った寛永８年(1631)から遠くない絵図であろう。町割りがされた図の上に，蜂須賀家直属の家臣名が書かれた付箋や町人屋敷・百姓町・下代屋敷などの付箋が貼られている。また，稲田家の家臣団は，稲田修理侍屋敷として一括されている。蜂須賀家家臣の屋敷は城のすぐ北に集中しており，稲田家の家臣はその西側に配置されている。

須本御山下絵図　国立史料館所蔵（24A-1229-1）

洲本城及び城下町の町割りを一覧できる図である。作成年代は不明であるが，元和元年(1615)の一国一城令で破却されたとされる三熊山頂の城（通称上ノ城）も西の高熊山の郭を含めて見事に描かれており，かなり早い時期の絵図ではないかと推定される。三熊山山麓の城（通称下ノ城）も堀・石垣が巡らされた建物の様子がわかる。城山の北には城下町が広がり，侍屋敷・町屋・農人町・寺町・足軽町などに分けられている。

美馬郡脇町分間図　文政元年（1818）　脇町史編集室所蔵

美馬郡の郷町である脇町の分間図である。吉野川が北に湾曲するところに石垣が築かれ，港として利用された。南町・中町・北町には，道に面して町並みが形成され，土蔵造りの家も多く，繁栄している様子が読みとれる。北町小麦谷横に制札場（藩からの各種禁制や掟書・法度の類を掲示）があり，人通りの多い地点であったと思われる。北の台地上には溜池が築かれ，棚田が緑色に描かれている。

三好郡池田村絵図　正木重雄氏所蔵

三好郡の中心，郷町池田村の様子がわかる絵図の写しである。作成年代は不明であるが，化政期に徳島藩によって盛んに作られ，測量を伴った分間図に似た様式になっている。絵図の北側は吉野川が描かれている。吉野川沿いの南岸には伊予街道が走り，池田の町には８８戸家屋が描かれている。また，町の西側，街道の南側には，平安時代に山田古嗣によって造られたとされる古池があり，さらに西には街道の一里松も描かれている。

立江村分間絵図　小松島市文書　当館寄託

勝浦郡立江村を描いた分間図の写しである。作成年代は，封筒には文化年間とあり，文化・文政期に盛んに作られた分間図のひとつであろう。村の中央に地蔵寺という寺があるが，これは四国霊場１９番札所の立江寺で，寺を中心に家が建ち並んでいる様子が描かれている。また，北の田野村から山沿い立江川西岸を旧土佐街道の本道が通るが，この道から立江寺へ向かう三叉路には制札場があり，近在の中心的な集落であったことがわかる。

佐古屋敷割之絵図　寛永十八年（1641）　国立史料館所蔵（24A-1216-4）

寛永１８年に佐古町をつくるにあたり，東西９丁（約千メートル）に居住させる家臣団と町人の屋敷割（配置）を示した絵図である。佐古は伊予街道筋を押さえるための防衛上重要な地区であったため，鉄砲組を中心とする足軽層が配置された。各人には間口５間・奥行１５間（７５坪）の屋敷が規則正しく割り当てられ，足軽層の南側には商人の町屋敷が，北側には約３００坪の屋敷をもつ中級の家臣団が配置された様子がわかる。

徳島市弐軒屋町絵図　徳島県立博物館所蔵（H000659）

本図は，江戸時代に土佐街道筋の町屋として栄えた弐軒屋町の実測図で，明治の初期か前期頃(1875 ～ 1889 頃)の作成と推定される。現在の金刀比羅神社鳥居前付近から南に延びる二軒屋町１丁目・２丁目・３丁目と西二軒屋町１丁目の範囲を示している。民有地の所有者の名前・地番が１筆ごとに記され，当時の地所の所有状況が読み取れる。なお，等級（朱数字）については不詳で，縮尺は約６００分の１（本図）である。

展　示　品　目　録

No.	標　題	年　代	原寸（mm）	所蔵
1	徳島城下の絵図			
1	御山下絵図	正保３年(1646)	3340 × 3330	国立史料館所蔵
2	阿波渭津城下之絵図	天和３年(1683)	2800 × 2020	国立史料館所蔵
3	御山下絵図	元禄４年(1691)	不詳	国立史料館所蔵
2	洲本城下の絵図			
4	須本御城下町屋敷之図	不明	2330 × 1840	国立史料館所蔵
5	須本御山下絵図	不明	2240 × 1840	国立史料館所蔵
3	郷町の絵図			
6	美馬郡脇町分間図	文政元年(1818)	1405 × 1250	脇町史編纂室所蔵
7	三好郡池田村絵図	不明	788 × 1303	正木重雄氏所蔵
8	立江村分間絵図◎	文化１０年(1813)	1490 × 2260	小松島市文書(当館寄託)
4	徳島城下の部分図			
9	佐古屋敷割之図	寛永１８年(1641)	1012 × 3184	国立史料館所蔵
10	西富田屋敷割之図	寛永１８年(1641)	1270 × 1990	国立史料館所蔵
11	出来島割絵図	（寛永１８年カ）	1250 × 1980	国立史料館所蔵
12	安宅大工島絵図	不明	1650 × 1060	国立史料館所蔵
13	沖洲絵図	不明	1010 × 1870	国立史料館所蔵
14	徳島市弐軒屋町絵図	（明治）	537 × 1150	徳島県立博物館所蔵
5	徳島　ー地図で見る町の移り変わりー			
15	徳島市全図	（明治）		宮住家文書(当館寄託)
16	徳島市街及附近名勝◎	明治４２年		当館所蔵
17	徳島市街全図◎	大正１０年		当館所蔵
18	徳島市著名案内地図	昭和２２年		徳島県立図書館所蔵
19	詳密徳島市街図	昭和２７年		徳島県立図書館所蔵
20	一万分の一地形図　徳島	平成１０年		当館所蔵

＊◎は原資料です。それ以外は複製物です。

＊展示期間中史料保存等の観点から、展示品を替えることがあります。

発行	徳島県立文書館
発行年月日	平成１３年４月２４日